

⑤ 「アイヌ語鶴川方言日本語 - アイヌ語辞典」の利用法について

この辞典は、日本語を見出し語として、あいうえお順に並んでおり、先頭文字・見出し語・内容・和訳・備考・音声という項目順で並んでいます。容量上の問題で、一度に表示可能なのは先頭一文字分を共有する範囲です。たとえば最初に表示されるのは「あ」から始まる項目のみですので、それ以外の範囲を参照する場合は、先頭文字を検索して、そこに飛んでください。

「備考」欄には、鍋沢強巳氏の記憶による言葉である場合、「鍋沢さんの言葉」と表示しています。また、新井田氏・吉村氏の発音がこの方言として期待されるようなものとは異なる場合もあり、文法的にも他の地域の資料から類推される形とは違う場合もあります。ただし、それがこの方言の特徴的なものであるのか、あるいはおふたりが長年アイヌ語を日常的には使っておらず、また高齢でもあるため、記憶違いや思うように発音できなかったためであるのかは、ただちに判断はできませんので、発音のとおりの表記を「内容」欄に書き、期待される形を「備考」欄のほうに記しておきます。

項目のうち、「備考」を除く項目は、「音声」を含めてフリーワード検索できますので、それで検索を行うと、該当するものがすべて表示されます。「音声」は音声ファイル名を検索することになります。「見出し語」で検索できない場合は、こちらが有効な場合があります。アイヌ語はローマ字表記で、北海道ウタリ協会編（1994）『アコロ イタク』および、中川裕（1995）『アイヌ語千歳方言』（草風館）に準じた表記法に従っています。

音声をクリックすると音声を聞くことができます。また学習者の便宜を図るために、音声データを含めて、全データをダウンロードすることができます。

ただし、誤りなどが発見された場合、予告なしに順次改定していきますので、その点にご注意ください。